

令和 6 年度授業改善推進プラン

教科名 家庭科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	・新たな気持ちで中学校家庭学習に取り組んでいるが基礎的なことが定着していない。興味はかなり示しているのに興味を持つ分野から発展させていく。	○基礎的なことが定着していないことや経験不足は認められるが、「刺し子」の作業を通して、上手、下手でなく、集中力や頑張る力が大切であることを指導して、作り上げる喜びを味わわせたい。 ○授業の始めを特に大切にし、導入の工夫や生徒の関心ある内容の授業を心がけ、ワークブックを活用し、生徒が答えを考える機会を多くし、意欲的に取り組める工夫をしていく。 ○忘れ物申告を始まる前に行い、指導する。
2 年	・集中できない生徒が多いので、身近な課題を取り上げ、興味、発展に繋げていきたい。 ・基礎的なことや、道具の使い方についての経験不足が多い。 ・よりよい物を工夫して作ってほしいという意欲を感じられる生徒も多いので、作業では工夫、アイデアなどの力をつけさせる。	○その日の課題をわかりやすく知らせ、実際の生活に即した教材を準備し、学習方法を工夫して、新たな知識や技術を身につけさせる。 ○エプロンの作品作りでは、不得意な生徒や、遅い生徒にはこまめに声をかけ、時々見本を見せ、指導する。 ○エプロンの作品作りでは、個々のアイデアを生かせるように工夫し、完成させる喜びを味わわせる。
3 年	・隔週授業の上、行事でカットなど、極端に少ない授業数でいかに内容の濃い授業にするかが課題である。	○毎時間の授業を、集中して学習するかを、いかに大切かをしっかり説明して、理解させる。 ○作品作りでは“想像力”“思考力”“創造力”を引き出せるよう、指導する。